取り扱い説明書

GIVI 汎用モノロックケース	適応車種
	キャリア付き車輌

この度はデイトナ「GIVIモノロックケース」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

■取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
■この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。
■この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も合わせてお渡し下さい。

〈商品内容〉

	パーツ名	サイズ(mm)	個数		パーツ名	サイズ(mm)	個数
1	ケース		1	7	（平ワッシャ）	M6	（8）
2	キー		2	8	ナット	M6	4
3	ベース		1	9	波型プレート		4
4	スクエアワッシャ		4	10	ラバーストッパー		4
5	ボルト	M6×30	4	11	結線コネクター		2
6	ベースカバー		1	12	キャップ		1
				13	タッピングスクリュー		2

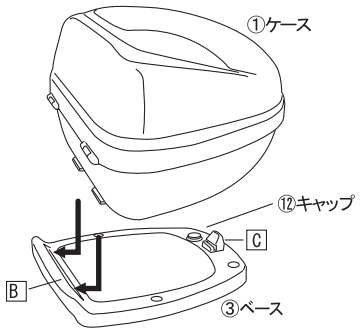
※⑪結線コネクター、⑫キャップはハイマウントストップランプ付きのハードケースのみに付属しています。
※製造ロットにより⑦ワッシャが付属していない場合がありますが、ボルト及びナットの座面が広い物（座金付ボルト、座金付ナット）になっていますので問題なく使用頂けます。

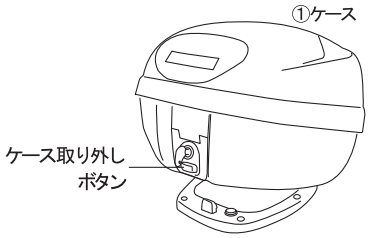
〈注意事項〉
この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。予めご了承下さい。

〈特徴〉
■樹脂製ハードケース。プッシュボタンによりケースの取り付け、取り外しが簡単に出来ます。
■車体から取り外し携帯出来ます。 ■ 脱落や盗難を抑止するキーロック付き。
■ハイマウントストップランプを装着したケースをベースに脱着する場合でも、ベース接点方式採用により、配線カプラー等を抜き差しする必要はありません。

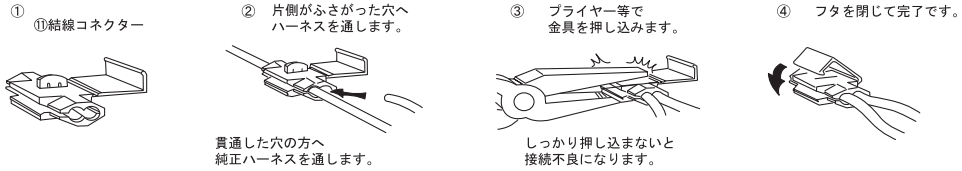
〈安全上のご注意〉
⚠警告 走行中のケース脱落防止、キャリアの破損防止、及びライダーの落車防止のため、バックレストを装着した場合でも、ケースに常時及び過度に体重をかけないでください。
⚠警告 許容重量又は許容容積を超えた荷物の詰め込みは出来ません。許容範囲を超えた場合、商品の破損や、重大な事故につながり死亡または重度の障害にいたる事故の原因となります。
⚠警告 オフロード走行をしないこと。
⚠警告 この商品を取り付けると車両のハンドリングが、悪化します。またブレーキの効き具合が低下します。
⚠注意 GIVIハードケースは防水性を考慮した設計になっておりますが車輌への取付状態や走行条件、気象条件によってはケース内に水が侵入することがあります。特に雨天時に使用する場合は、予め内容物に防水対策を施して下さい。万一、重要な物に浸水等の被害があっても、当社では補償致しかねます。
⚠注意 内容物の最大積載重量はいずれも3.0kgです。但し、車体側取付部（バイクキャリア等）の最大積載重量から商品の重量（裏面参照）を差し引いた値の範囲内でご使用下さい。
⚠注意 使用状況、または使用環境により①ケース内部が高温になる場合があります。
⚠注意 取り付け作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行って下さい。
⚠注意 取り付けは確実に行って下さい。又、走行中にネジ部等が緩む事のないよう、規定トルクで確実に締め付けて下さい。ネジロック剤の併用をお勧めします。
⚠注意 取付後、約100km走行しましたら各部を点検し、ネジ部等の増し締めを行って下さい。その後、約500kmごとに必ず点検を行い、同様の増し締めを行って下さい。
⚠注意 走行中異常が発生したと思われる場合、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検して下さい。
⚠注意 走行前には必ず各部を点検のこと。特にケース本体を引っ張って外れないことを確認のうえ走行のこと。
⚠注意 GIVIハードケースに入れた荷物の破損等があっても、当社では補償致しかねます。
※モノラックや一部のスペシャルキャリアと組み合わせる場合はベース側接点を移植してください。

3. [①ケースを取り付ける]
3-1 ハイマウントストップランプ付ボックスは初めに③ベースの、接点にかぶせてある⑫キャップを取り外します。（外しにくい場合はドライバー等でこじるようにして下さい。）
車体に取り付けた③ベースB部に①ケースを引っ掛けます。
3-2 ①ケースを上から押さえます。この際③ベースC部と①ケースのロック部分の位置が合っている事を確認します。
①ケースが③ベースにはまりにくい場合は、①ケースを上から押さえると同時に③ベースを下から強く押し上げてください。
3-3 ①ケースが③ベースから外れない事を確認します。
⚠ ①ケースのロック部分が、確実に③ベースにロックされているか、確認して下さい。確実にロックされていませんと、走行中に①ケースが落下し、大変危険です。
⚠ ※走行中のケースの脱落や荷物の落下事故は道路交通法によって運転者が罰せられます。
4. [①ケースの取り外し]
4-1 ①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。
4-2 ②キーを右（時計方向）に回します。ケース取り外しボタンのロックが解除されます。
4-3 ケース取り外しボタンを押しながら、①ケースを持ち上げます。
⚠ 操作方法に関して、補足説明書をお読みください。





〈結線コネクターの使用方法〉配線の被覆は剥かずに使用します。



〈補修用キーについて〉

GIVIハードケースは、キーシリンダーにナンバーが打刻されている為、防犯上の理由からキーのみの供給はしておりませんので、万一紛失してしまった場合は、カギ専門店等で解錠した上で、下記のキー&シリンダーセットで交換して頂くようお願致します。 キー&シリンダーセット・・・・・・・・・（36394）￥1,260(税込み)

〈オプション〉

バックレスト（38331）¥4,725 E33用
（44043）¥4,725 E30/E300/E350用
取り付けの際にはケースに穴開け加工が必要。
※配線の補修はＡＶ0.5相当の市販品をご使用ください。

〈補修部品〉

ベースセット(接点なし)	(31335) ￥2,730
ベースセット(接点付)	(32429) ￥4,200
接点スイッチ(BOX側)	(32431) ￥1,260
接点スイッチ(ベース側)	(32432) ￥1,365
接点キャップ(ベース側)	(40448) ￥630
キー&シリンダーセット	(36394) ￥1,260
スクエアワッシャ(1枚)	(34640) ￥126
波型プレート(1枚)	(34639) ￥126
ラバーストッパー(4個) ﾌﾗｯﾄﾍｯﾄﾞ	(28937) ￥315

製造国
E26/30/33/42：マレーシア
E300：イタリア

輸入・販売元 JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 http://daytona-mc.jp 静岡県周智郡森町一宮4805
お客様相談窓口 0120-60-4955

E26/30/33/42/300ｼﾘｰｽﾞ 共通取扱説明書

〈取り付け手順〉

■ベース取り付け方法

1 ③ベースの、A部（4か所）に⑩ラバーを取り付けます。

⚠ ③ベースに①ケースが取付け出来なくなったり、①ケースがガタついたりする場合がありますので⑩ラバーを③ベースにしっかりと組み付けてください。
⑩ラバーは③ベースの下側よりラジオペンチ等で⑩ラバーを引っ張り、取り付けてください。その際、⑩ラバーを引きちぎらないように注意してください。
※製造ロットにより、予め⑩ラバーが組み込まれている場合があります。

2 ⑥ベースカバーを⊖マイナスドライバー等を利用し取り外します。この際⑥ベースカバーの爪を折らない様に注意してください。

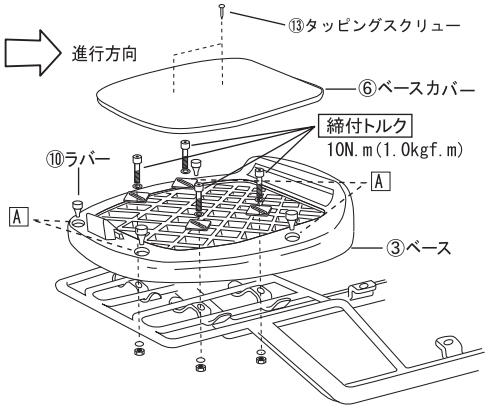
3 車両のキャリアの上に、④スクエアワッシャ、⑨波型プレート、⑤ ボルト、（⑦平ワッシャ、）
⑧ ナット、を使用して③ベースを取り付けます。締付トルク10N･m（1.0kgf-m）
③ベースには大きな力が掛かります。③ベースのがたつきがないように確実に取り付けてください。

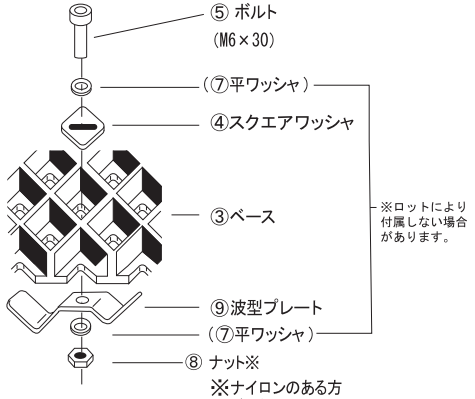
⚠ 車体側のキャリアの形状によっては、③ベースが変形する場合があります。そのまま取り付けると、①ケースが取り付かない場合があります。市販のワッシャやスペーサーを利用し、ベースが変形しない様に組み付けてください。

4 ③ベースに⑥ベースカバーを取り付けます。
⑥ベースカバーがはまりにくい場合は、タオル等をかぶせ、プラスチックハンマー等で軽く叩きながら

⚠ はめ込みます。⑬タッピングスクリュー（２本）でカバーを止めます。
その際、カバーの爪を折らない様に注意してください。

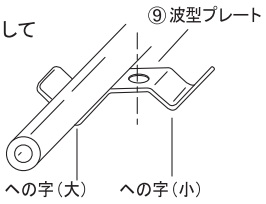
5-1 ハイマウントストップランプ無しハードケースを取り付けの場合
①ケースが、③ベースに確実に取り付け出来る事を確認して、作業は完了です。



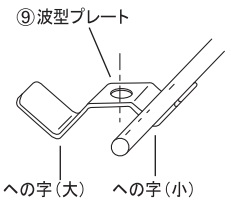


⑨波型プレートの使用方法

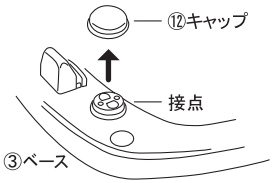
太いパイプの場合
への字（大）側を使用して取り付ける。



細いパイプの場合
への字（小）側を使用して取り付ける。



5-2 ハイマウントストップランプ付ハードケースを取り付けの場合
③ベースの、接点にかぶせてある⑫キャップを取り外します。（外しにくい場合はドライバー等で軽くこじるようにして下さい。）
①ケースが、③ベースに確実に取り付け出来る事を確認して、作業は完了です。
※ケースを外す際は、ベースの接点に雨水が入らないように付属の⑫キャップをはめて下さい。

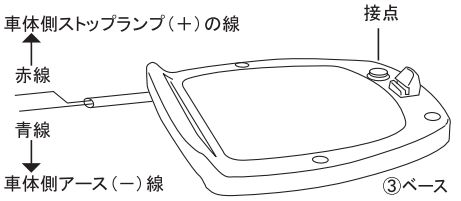


〈ストップランプ結線方法〉

6 ハイマウントストップランプ付ハードケースのみ
③ベースから出ている赤線を車体側ストップランプ（＋）の線に、青線を車体側アース（－）線に付属の⑪結線用コネクターで結線します。

⚠ 赤（＋）の線は、間違いなく車体側ストップランプの線と結線して下さい。誤って、テールランプの線には結線しないで下さい。

※ **E16/E33/E26Xのストップランプはを使用しているため極性があります。結線を逆に接続するとストップランプが点灯しませんので、念のため本結線前に極性及び点灯確認をしてください。**



※ハイマウントストップランプつきの車両の場合、ケースのランプ配線をしないでください。保安基準に抵触します。（原付車＝１２５cc以下除く）

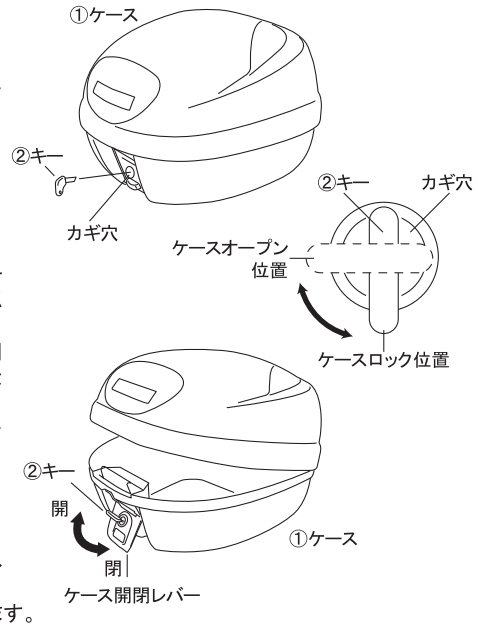
〈使用方法〉

1. ［①ケースを開く］
1-1 ①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。
1-2 ②キーを右（時計方向）に回し、ケースオープン位置に合わせます。ケース開閉レバーのロックが解除されます。
1-3 ②キーを手前に引き、ケース開閉レバーを持ち上げます。
①ケースのフタを持ち上げます。

1-4 ［①ケースを閉じる］
2-1 ①ケースのフタを閉めます。
2-2 ケース開閉レバーを下げます。この際にケース開閉レバーのツメが①ケースのフタに確実に掛かっている事を確認します。

⚠ ケース開閉レバーを無理に閉めないで下さい。ケース開閉レバー等の破損により、①ケースのフタが閉められなくなる場合があります。

2-3 ②キーを左（反時計方向）に回し、ケースロック位置に合わせます。ケース開閉レバーがロックされます。
2-4 ②キーを抜きます。



※施錠しても盗難を完全に防ぐことはできません。
車両を離れるときは貴重品を入れない、ケースを外して持ち歩く、などの自己防衛が必要です。
※濡れた荷物を入れるとカビや異臭などの原因になります。
※走行前には必ずケース本体を引っ張ってロックを確認してください。
走行中のケースの脱落や荷物の落下は道路交通法によって運転者が罰せられます。

参考・商品の重量（ベース、金具込み。 単位キログラム）

E26N･･･2.9	E26X･･･2.8	E30･･･3.0
E33 ･･･3.2	E42 ･･･3.5	E30･･･3.0

補足説明書

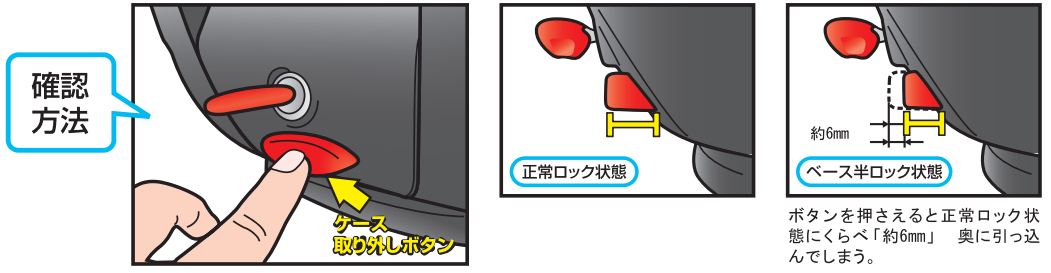
GIVI MONOLOCK SYSTEM

走行中のケース脱落防止の為に下記の確認を走行前に必ず行ってください。
ケースがベースに完全に固定されていない(仮固定)状態で走行すると走行中にケースが外れ大変危険です。

ベースへのロック状態の確認

装着後、ケース本体を上方向に持ち上げ、ベースから外れないかどうか確認してください。しっかり固定されていればケースは外れません。途中で引っかかって仮固定されている状態(注1)で持ち上げると外れてしまいます。仮固定の状態でもキーロックは出来てしまいますので、ご注意ください。途中で引っかかって仮固定されている可能性がありますのでもう一度しっかり上から押して完全に固定してください。

※注1　ベースとケースの固定の特徴。
ケースを押し込む力の加減により、一度で本固定出来ない場合があります。
ケースをベースに押し込む際、途中で固定された様な抵抗を感じられます(仮固定状態)が、そこからさらに下にケースを押して確実にベースに本固定させてください。
(“カチッ” という音でケースの固定を判断しないでください。仮固定状態でも”カチッ”という音が発生します。
この状態で走行しますと、ケースが外れてしまい大変危険です。)



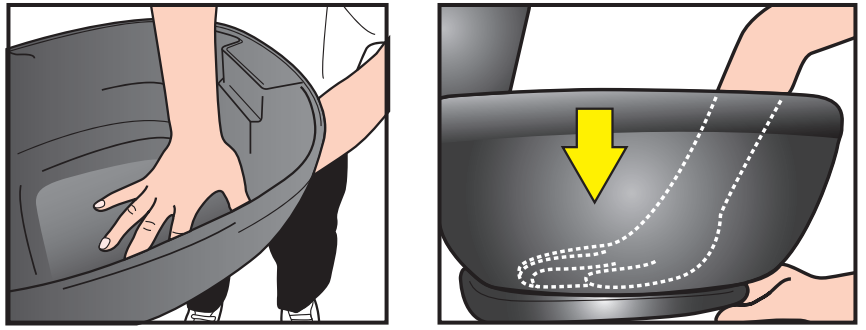
ボタンを押さえると正常ロック状態にくらべ「約6mm」　奥に引っ込んでしまう。

ベースをバイクキャリアに装着する際の注意

ベースを車体のキャリア等に装着させる際、ベースに歪みが出ないように均等な力で装着してください。
ベースが歪んでいる状態ではケースがうまく装着できません。

より確実なベースへの取り付け方法

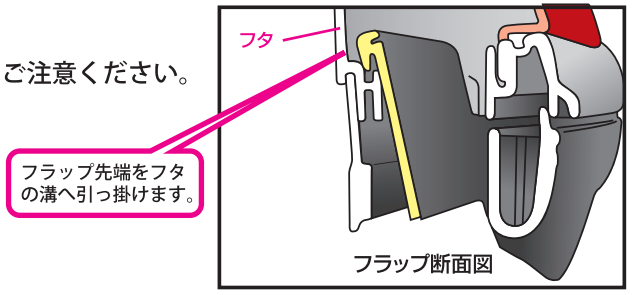
上蓋を開いた状態でケースのツメをベースに差込み、ケースとベースを組み合わせます。
片手をベース下側へ回し、ベースを上に持ち上げるようにしながら、もう片方の手でケース内側底面を押さえ、両手で挟み込むようにしてケースをロックします。
特に原付スクーター等小型車では、リアサスペンションが軟らかくケース上から押さえただけではロックしにくい場合があります。
※ケース内側へ手を入れる際、蓋で手を挟まないようお気をつけください。



ケースを閉じる際の注意

フラップ先端のツメをケース上フタの溝に入れなければフタがロックされません。
イラストのようにケース上フタとフラップのツメを噛み合わせた状態でフラップを閉じ、キーをロックしてください。
キーをロックした後、フタが確実にロックされ、開かない事を確認してください。

※キーの抜き忘れにご注意ください。



必ず、商品本体に付属している取扱説明書とこの補足説明書を一緒に保管してください。